

施行説明と注意点

施工時は、製品に同封の施工説明書をご確認のうえで施工をお願いいたします。電動工具なども使用する施工になりますので、周辺に十分注意して施工をお願いいたします。アスファルト面施工時は、基本的に接着剤併用になります。設置面が湿っている際などは施工不良の要因になりますので十分ご注意ください。ご不明な点がございましたらお問い合わせください。

アスファルトへの施工方法と注意



— 1 —
設置位置を決めて、アンカーで下穴を開けます。下穴は約10mmの大きさで、30～40mm開けます。



— 2 —
ブロワーなどで、下穴の内部と設置面をきれいに掃除します。特に下穴の中に粉塵が残っていないようにしてください。



— 3 —
接着剤を下穴の内部に注入して、接地にも塗布します。使用量目安は、「M2311LTP-041SB/Y」の場合は約3mで1kgです。



— 4 —
本体をセット後、ハンマードリルで専用アンカーを打ち込みます。



— 5 —
本体をウエスなどでふきあげて設置完了です。接着剤の硬化後、通行可能です。

コンクリートへの施工方法と注意



— 1 —
設置位置を決めて、アンカーで下穴を開けます。下穴は約13mmの大きさで、40～45mm開けます。



— 2 —
ブロワーなどで、下穴の内部と設置面をきれいに掃除します。特に下穴の中に粉塵が残っていないようにしてください。



— 3 —
アンカーをハンマーで打ち込み拡張させます。専用打ち込み梅を使うと、正確なうちこみができます。
※ 推奨・・・サンコーテクノ社製



— 4 —
インパクトドライバーでワッシャーとボルトを締め付けます。ボルトサイズはM10、ソケットサイズは17mmです。



— 5 —
本体をウエスなどでふきあげて設置完了です。